

1月11日（土）に重要文化財旧米谷家を学ぶための勉強会を開きました。過去2年の抱負を語り合いました。

町歩き勉強会

その後は会費制の新年会が開かれ亀田新市長も参加して、大いに歓談し、令和2年の抱負を語り合いました。

明がありました。

木駅前の「かしさらナビプラザ」（樋原観光交流センター）内にある一般社団法人樋原市観光協会が4月1日から「華蔓」に移転することについて説明がありました。

7期の今井町電線地中化工事について説明がありました。

1月21日（火）午後6時30分から役員会と新年会を今井町公民館で開催されました。

役員会では市の観光政策課から現在八木駅前の「かしさらナビプラザ」（樋原観光交流センター）内にある一般社団法人樋原市観光協会が4月1日から「華蔓」に移転することについて説明がありました。

### 今井町町並保存住民審議会開催



発行 今井町町並み保存会  
発行日 令和2年2月1日  
電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
e-mail [imaicho@m3.kcn.ne.jp](mailto:imaicho@m3.kcn.ne.jp)  
△ご意見・ご感想は  
今井まちづくりセンターまで

2回の勉強会を掲載した「いまいは今」を見ながら、ボランティアの森本さんに解説していただきました。

旧米谷家は昭和47年5月15日に重要文化財に指定されています。解体修理は昭和49年から50年頃まで行われています。現状維持し、次の世代に渡すということもあり、管理には注意を払うように言われ、見学者の方々にも協力していただきています。まず敷居にのぼらないこと。

これはここのご主人の頭を踏むのと同じことで、そこから家を大切にするという気持ちを養っています。それから主家・蔵前座敷・厨子二階（丁稚部屋）にものぼらないこと。竈は見ていただけて、ふたも開けて見ていただけていますが、焚き口から開けるとカバンなどが竈に当たるため逆から開けてもらっています。写真を撮られる方はよいアングルを求め竈に足を掛けられる方もいるので注意しています。

また道に面している部屋の壁面は部戸（しどみど）となっており、戸は開けて採光し、夜間は閉じるようになっています。無双窓も戸戸も知らない人が触ると建物を傷めることになるので、当番のボランティアの指導のもと、昔の人の知恵を感じ取ってください。

また道に面している部屋の壁面は部戸（しどみど）となっており、戸は開けて採光し、夜間は閉じるようになっています。無双窓も戸戸も知らない人が触ると建物を傷めることになるので、当番のボランティアの指導のもと、昔の人の知恵を感じ取ってください。

### ベトナムより来町者の書道体験

12月21日、ベトナムからの研修旅行に来町された皆さんが書道体験を行いました。午前中は20人、午後は16人、旅行中に気に入った言葉を手本



旧米谷家の主家は1750年頃の建物で代々金物商や肥料商を営んでいました。現在は失われた北側の二つの蔵を入れると、かなり大きい家だということがわかりました。また「蔵前座敷」が有名ですが、嘉永二年に増築されたことがわかっています。ここではご隠居さんが夜に蔵の番として寝ておられたという話もあります。竈の上には「煙返し」があり、部屋に煙が入らないようになっています。また「煙出し」は通常竈の真上にあることが多いのですが、天井で煙を巡回させることで「竈の子天井」の防虫効果をねらつたものといわれています。

日本文化を楽しんでいただけたようで、書いたものをお土産に大切に持ち帰られました。

「大とんど」の炎が勢いよく空に！

### 春日神社境内

1月14日、恒例の「大とんど」が開催。12時半、拝殿で神事執行の後、今年の歳男の久保田広繁さんが、準備されたやぐらに13時頃に点火すると、炎は勢いよく空に向って伸びて行きました。

お正月の飾りや古い神符など捨てることができない縁起物を燃やして、家内安全・無病息災を祈願しました。



### 谷三山顕彰碑①存知ですか？

華麗前に立派な石碑が立っています。これは幕末の儒学者「谷三山」の功績を讃えるために大正五年に高市郡教育会によって建立されたものです。

碑文には文久三年（1864年）に高取藩主に提出した上書の一説が刻まれています。内容は「尊王攘夷」を訴えたもので、その思想は「天誅組」に参加した門人の原田亀太郎（松山藩士）にも大きな影響を与えています。



谷三山顕彰碑

顕彰碑はそこを訪れる人々に今なお、向学の志を訴えています。

谷三山は八木に生まれ、幼くして耳を患い聴力を失いますが、多くの書物を求め、独学で知識を蓄えていきます。二十歳過ぎには目も悪い盲目となりますが、京の学者、猪飼敬所、五条の儒学者、森田節斎らとの交流を通じて、その名声は全国に拡がり、吉田松陰は郷里への手紙の中で三山のことを「生涯寅次郎の高師」と敬うべき方」「師の師たる人」と書き記しています。また節斎は「高取にすぎたるもののが二つあり、山の御城に谷の四平」と歌いました。

家塾「興譲館」を開き、武士だけでなく、町人、医者など多くの門下生を抱え、その指導に励みました。慶應三年に六十六歳で没したのち、大正六年に特旨をもって正五位を贈られました。

顕彰碑はそこを訪れる人々に今なお、向学の志を訴えています。

### 映画情報

昨年は町内にて映画やコマーシャルの撮影が行われましたが、そのうちの上映スケジュールが発表されているものを紹介します。

予告映像にはロケ地でのシーンも見られます。公開日が楽しみですね。

映画『燃えよ剣』 最終章 The Final  
5月22日公開予定

映画『ねむに剣心 最終章  
The Beginning』  
6月7日公開予定

### 今井往来

2月2日（日） 今井小学校廃品回収

2月3日（月） 16時～17時 節分祭（春日神社）



2月8日（土）～11日（火）

はならあと2019（大和上市）  
2月15日（土） 13時～17時 はならあと報告会（大字陀町）

3月8日（日） 防災フェスティバル

### 参考図書